

番号	50	名称	南堀留橋	
指定日	平成 19 年 3 月 28 日	所在地	九段北一丁目～神田神保町三丁目（日本橋川）	
設計者		竣工	昭和 3 年（1928）	



歴史・文化的特徴

震災復興橋梁である。

堀留橋の南に架けられたことから、この橋名が付けられた。

意匠・構造の特徴

簡素な意匠のゲルバー橋。親柱や橋灯、手すりも簡素なデザインである。

橋桁の側面の色は青色。

周辺景観との関係

歩行者の目にあまり印象的な意匠は目に入らない。

首都高速道路の西神田出入口のため高架が低く圧迫感が大きい。

水面から見ても首都高速道路の高架の圧迫感が大きい。

下流側で橋梁の全景を見ることができる。橋台などの構造がよくわかる。